

「半田市庁舎周囲埋め立て地の防災対応能力についての質問状」に関する回答

〔質問1〕

平成28年4月半田市立半田病院 あり方検討委員会 新病院構想案 p 49では「病院周辺道路については最大被害の場合で30cm～1mの浸水が想定されている。このような地震や高潮による病院周辺道路の浸水時でも、第1次緊急輸送道路である病院西側道路から阿久比川沿いの堤防道路を利用した病院へのアプローチが可能である」と記載がありますがこれは県道碧南半田線、半田大橋、阿久比川右岸の堤防道路全てが冠水しないと想定されているということでしょうか？また冠水するとすれば通行可能となるまでに何時間要する見込みでしょうか？(津波・高潮ともにお答えいただきたく存じます)

〔回答〕

- ・半田市ハザードマップに掲載されている過去地震最大モデルによる想定津波において、碧南半田常滑線の一部は冠水が想定されています。(愛知県)
- ・冠水した場合の通行可能までの所要時間については、津波警報の継続時間、地震や津波による周辺建物の倒壊、構造物の被災状況にもよりますが、緊急輸送道路の啓開目標である発災後3日間で通行可能となるよう最優先で道路啓開に取り組みます。(愛知県)
- ・半田市としても市内建設業者等との支援協定にもとづき、最優先で道路機能の回復に努めます。(半田市)

〔質問2〕

上記アプローチ道路(赤レンガ建物～半田大橋～病院候補地(職員駐車場))は液状化や段差が生じ通行不能になるという可能性はないのでしょうか？

〔回答〕

- ・半田市ハザードマップに掲載されている液状化危険度において、半田大橋前後～碧南半田常滑線から病院候補地については、液状化が極めて高い地域に想定されており、車両の通行が不能になる可能性はあります。(愛知県)
- ・橋梁については、緊急輸送道路を優先的に順次耐震化を図っております。(愛知県)
- ・液状化等により道路に被害が発生した場合は、緊急輸送道路の啓開目標である発災後3日間で通行可能となるよう最優先で取り組みます。(愛知県)
- ・半田市としても市内建設業者等との支援協定にもとづき、最優先で道路機能の回復に努めます。(半田市)

〔質問3〕

平成26年11月26日に愛知県高潮浸水想定が発表されていますが、こちらは堤防が決壊しないという前提で策定されています。現状の堤防が決壊する可能性の有無と、堤防が決壊した場合に想定される被害、道路復旧までにかかる期間の見込みについても教えていただきたく存じます。

〔回答〕

- ・愛知県高潮浸水想定は堤防が破堤しない条件でシミュレーションしたのですが、例えば高潮が堤防を乗り越え、背面側が洗掘されるような状況が生じた場合には、堤防が決壊する可能性が全くないとは言い切れません。（愛知県）
- ・堤防が決壊した場合の道路復旧については、上記地震時の対応と同様に、緊急輸送道路については啓開目標である発災後3日間で通行可能となるよう最優先で道路啓開に取り組みます。（愛知県）
- ・半田市としても市内建設業者等との支援協定にもとづき最優先で道路機能の回復に努めます。（半田市）

〔質問4〕

公開されている半田市津波被害のハザードマップ、「過去地震最大モデル」では地震や液状化による防災構造物の被害もおこまれた想定となっております。この防災構造物の被害予想は、液状化危険度が非常に高く、地盤沈下も予想される当地域の地理的条件を考慮したものなののでしょうか？液状化による側圧の増大に対しても安全な堤防になっておりますか？また側方流動を防ぐことができる構造になっているのでしょうか？

〔回答〕（愛知県）

- ・半田市ハザードマップにおける想定津波浸水深については、当地域の液状化危険度が高いことを考慮し、地震により堤防高さが75%沈下し、更に津波が堤防を越流した場合には破堤する（堤防高さゼロ）条件の下でシミュレーションを行った結果となっております。
- ・阿久比川の東雲橋下流右岸側の堤防については、平成27年度から耐震補強工事に着手しており、地震時に発生する地盤の液状化及び側方流動による堤防沈下を抑制するための整備を進めております。

〔質問5〕

現在計画されている阿久比川右岸の堤防工事が完成後、職員駐車場跡地が津波避難対象区域から外れる可能性はございますか？

〔回答〕（半田市）

- ・愛知県による津波被害のシミュレーションでは、阿久比川右岸から新病院建設予定地（市職員駐車場）への浸水は想定されておられません。

この地域への津波による浸水は、半田入り江左岸の東浜町二丁目と船方橋上流（幸町一丁目）の2カ所とされています。東浜町の護岸の耐震化は終えており、半田水門の改修も予定されておりますが、今後、これらの耐震対策に基づき新たな被害想定が公表されない限り津波避難対象区域から外すことは考えておりません。

なお、最大級の津波浸水想定でも職員駐車場そのものは浸水しませんが、地域住民とのワークショップにより作成した津波避難計画により、当該地域全体を津波避難の対象区域としています。

〔質問6〕

東海集中豪雨時に冠水した原因、市庁舎前交差点冠水から回復までに要した時間、排水ポンプ場の現状の対応能力（想定対応時間雨量）について教えてください。

〔回答〕（半田市）

- ・東海集中豪雨時に市庁舎前交差点が冠水した記録はございません。
- ・瑞穂排水ポンプ場の排水能力は、時間最大雨量70mmまで対応できます。

〔質問7〕

昭和東南海地震による構造物・人的被害。戦時中であり確かな記録が残っていないとは存じますが、現在の防災計画を策定する際に用いた資料があればご提示頂きたく存じます。

〔回答〕（半田市）

- ・平成26年度に愛知県が公表した被害想定を基にしており、昭和19年の「昭和東南海地震」の被害実績を現防災計画には反映しておりません。当時の資料といたしましては、被災状況の写真がわずかに現存していますので、半田市防災交通課にて手続きをお願いいたします。